

だんだん

「だんだん」は、西日本の一部地方の方言で「ありがとう」という意味です。のんびりした暮らしを連想させるこの言葉を、活動のテーマにしています。

NT中央南支部のエリアは、高花、原山、内野小学校区です。

社会福祉協議会ニュータウン中央南支部の広報「だんだん」です。社会福祉協議会は、住民どうし支え合う地域をめざし活動しています。高齢化がすすみ、地震などの大規模災害が想定される昨今、ご近所での見守りあい、助け合いは大切です。わたしたちの活動をぜひご一読ください。

講演会のご案内

サザンプラザ 後援

終末医療どう選ぶ？ 基礎知識と生き方のヒント ——最期まで自分らしく生きる——

日本は類例のない速さで超高齢社会を迎えています。印西市でも、今後10年ほどで75歳以上の後期高齢者が急増していきます。

そうした現状はすでに広く知られていますが、では、その結果、具体的に何がどうなり、どんなことが起きてくるのでしょうか。

超高齢社会で何が起きる？

延命治療ってどんなもの？

これまで私たちは「長生きする」ことを目指してきて、「長生きした晩年の幸せはいかにあるべきか」をあまり考えてきませんでした。

「長生き＝幸せ」ではけっしてないのです。しかし、医療の世界はいまだに「長生きすること」が最優先になっています。

長生きしてどんなふうに過ごしたいか、どこでどんなふうに最期を迎えたいか、「自分らしくある」とはどういうことか、生き方のヒントを、『高齢者終末医療、最良の選択』（扶桑社）の著者で内科医の高林克日己先生に、医療の現場から具体的にお話しいただきます。

自分はどこで死ぬだろう？

終末医療をどう選ぶ？

高林克日己先生

松戸 三和病院顧問、前千葉大学付属病院副院長

3月4日(土) 14:00～16:00

サザンプラザ 多目的室

参加無料・申し込み不要

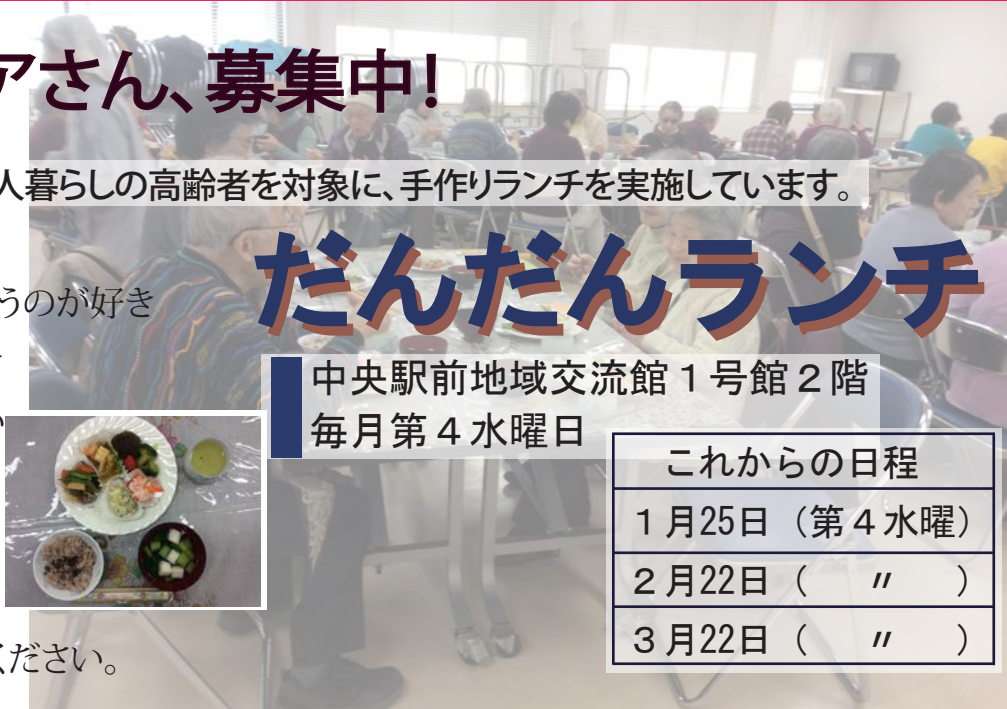


調理ボランティアさん、募集中!

社会福祉協議会では、月一回、一人暮らしの高齢者を対象に、手作りランチを実施しています。

- ①料理をするのが好き
- ②つくった料理を人に食べてもらうのが好き
- ③創作メニューを考えるのが好き
- ④料理のレパートリーを広げたい
- ⑤福祉のために何かしたい
- ⑥人脈を広げたい
- ⑦人と会いたい、話しをしたい

そんな人はぜひ下記までご連絡ください。



だんだんランチ

中央駅前地域交流館 1号館 2階
毎月第4水曜日

これからの日程
1月25日 (第4水曜)
2月22日 (")
3月22日 (")

安全な調理
のために

ボランティア研修も実施しています。

冬に猛威をふるうノロウイルスについて理解を深める研修を、昨年10/31に、佐倉保健所の専門官をお呼びし、実施しました。お話の内容は、

- 冬の食中毒は、ノロウイルスかヒスタミンによるものが多い。
- 調理人の手についたノロウイルスが広がることも多い。
- 嘔吐物や排泄物からの飛沫感染も多い。
- ノロウイルスは小さく、埃とともに空中に浮遊する。
- 海水プランクトンを食べる二枚貝はノロウイルスが凝縮しているため注意する。

ノロウイルスは防止の決定的な決め手がないので、手洗い、マスクの着用、素手で食品をさわらない等、基本的な衛生管理を徹底するしか方法がないとのこと。手洗い方法は、

- ハンドソープで60秒洗ったのち流水で15秒
- ハンドソープで10秒洗ったのち流水15秒×2セット

共用の手拭きは細菌の巣窟になっていることが多いので、家庭でも使い捨てペーパータオルを使用したほうがいいそうです。

また、ヒスタミンは、赤身魚のアミノ酸が変質し、それを摂取すると食中毒を起こします。加熱しても消えないそうなので、冬だからと油断せず、新鮮なうちにおいしくいただきましょう。



勉強にもなって
人のためにもなる、
一緒に活動できる方、
ぜひご連絡ください!

問合せ・連絡先 内野/志賀泰次郎 46-5825 高花/山下順三 46-6896
原山/小関ミツ子 37-7237 戸神台/野中文代 46-4134